（第三種郵便物認可　昭和七年七月廿八日）　昭和九年九月三十日　全國農民組合機關紙　第百二十七號　（一）

土地と自由

全國農民組合東出張所　定價一部五錢壹年六十錢　（會費共）　昭和二年九月二十七日發行　東京市芝區田村町二ノ一二　東和ビル四階　土地と自由社　發行所　編輯兼發行人　黒田壽男

ひでり・冷込み・風・雨・水
農民の苦しみは益々ひどい
全農は貧農の先頭に

今年は百姓には厄年だ。米の値はバカ安だ米の値はあがる一方だ。東北・北陸一帯から關東にかけては冷え込んで、秋の米はとれさうにないところが多い。九州から四國にかけては旱魃されひでりで、こゝも收穫皆無のところがザラにある。それに加へて今度は近畿中國、四國から山陰にまでひどかつた大風水害だ。もうスつくに收米はないのに、この秋とれる米の豫想もつかなくなつた。肴物もない。住む家も流された。こんな政治にあるのが全國の農民ゆ犬狩だこれこそ農民に農民にとつては非常時だ。この時こそ全農が農民の先頭になつて活躍しなければならぬ最もさし迫つた時機だ。農村には全農の活動力によつてこの非常時を打開したければならぬ問題が山積してゐる。それ許りかこの非常時を通じて、農民を更に苦しめ永久の困苦に陷れようとする様々の壓迫が待つてゐるのだ。我々は闘つてのみ一切の壓迫と闘ひ困苦から逃れる事が出る。農民の代表者である農の使命が一層重くなる。益々活動が必要になつてくる。全農はいつも百姓の先頭にたつてゐるのだ！既に各地方政府はそれ〴〵の被害狀況によつて充分な對策が講ぜられ朝會を中心に、或は支部獨自の闘爭力をひつさげて、或は地區一番の一丸となつて、出來秋を控へて百姓の闘爭が展開しなければならぬ。

風水害をこうして戰ふ

九月二十一日早朝から近畿、四國、中國、山陰にまで及んだ暴風雨は、今日全く水に浸つてゐるのだ。この地方は一年中で一番忙しい時だからどうにもゆかない。

先づ第一に飯米と被害對策

被害地ではもう今日食べ米もないのであるから飯米を得る事が何よりも必要だ。このために町村役場に對して被害の調査に立合はせ村で飯米を買はせるか、政府の擔下米を町村當局から貸下米として、要求させるやうにしなければならぬ。そして人間ばかりでなく百姓の大切である牛、馬にも何も食はずには生きてはゐないから、牛馬種の無償貸下げも是非要求する必要がある。農作物の被害に就ては町村當局ばかりでなく、地主共にも充分せておいやれ。關

大衆的檢見で闘ふことだ

被害地では既に各所でやつてゐるやうに多くの被害を調べて各自めい〳〵の被害を調査しておいて地主に立會を要求する。そして出來る限り、農會や役場の役人にも立會はし、その上支部で

は出來るだけ農山の組合員が、この檢見に立會つて、全部なり、檢見なりで有利な檢見を勝ひとることに努力しなければならぬ。こんどの被害で、困つてゐるのは農民一般なものはなかつたので、農四枚

岡山の風水害

各支部戰ふ

上道郡

會計、神の下、光政、乙見の各支部はひどい被害で、農作物は全滅、家屋流失、倒壊の外、多數の負傷者を出した。

岡山市

爭議、調停支部は、早速大衆的アンケートを發して被害狀況を調査、目下整理中である。

福山

縣聯本部

一、四五月の減水で丁、風水害對策に關する

晩稻全滅

高知縣聯力む

九月二十一日の暴風雨のため高知縣下の晩稻は全滅したが、このために今秋は甲縣下全體にわたるだらう。縣聯では、縣本部に於て、より出張所の大百姓を加へて緊急會議を開き、今後の對策を協議した。

東北地方は慢性大凶作

東北地方は今年はひどい凶作でありこう何回も繰返されては慢性になつて、百姓の困り方は一通りでない。

宮城縣聯

食糧にあらされた縣聯では、九月二十五日縣聯執行委員會を開き、

京都府聯

暴風對策成る

九月二十五日縣聯執行委員會を開き、

秋の闘爭を前に
第二回中央委員會開かる

最近闘爭の激しい出來秋に對處して九月五、六の兩日、民農會館に於て第二回中央委員會が開かれ、關東、東海、近畿、中國、四國、九州の各地方から、各支部の代表者が集つて、全國的闘爭の具體的方針について慎重協議した。

出席者　杉山元治郎、田中清、黒田壽男、佐々木惣一、宮内國平、岡崎輝、黒田壽男、須永好、川俣清音、八百板正、田邊勝二、三輪松太郎、佐々木惣一、郷部國一、金田三千、西納利一郎、岡田宗司、水田喜、伊藤貫、中野俊夫、森田重郎、江田三郎

議長　杉山元治郎

書記　西尾末廣、中野俊夫、森田重郎、伊藤貫

中心議案

一、米穀對策に關する件

政府の米穀政策は、現狀維持に於て、こんどのやうな災害のあとでは、必ずや病氣になつて斃れなければならぬ。

米穀對策及び肥料費を以てした政府の米穀政策は、現狀維持に於て、こんどのやうな災害のあとでは、必ずや病氣になつて斃れなければならぬ。

お互ひに
「助け合つて」

この被害の復舊に努力しなければならぬ。家屋や納屋の修繕といふやうな場合にも、〳〵お互に部合しあつてやらなければ駄目だ。こんどのやうな災害のあとでは、必ずや病氣になつて斃れなければならぬ。

決議

米穀對策及び肥料費を以てした政府の米穀政策は、現狀維持に於て、こんどのやうな災害のあとでは、必ずや病氣になつて斃れなければならぬ。

決議

小作官會議へ要請書提出

關係官廳へ抗議

九月十九日、杉山元治郎、黒田壽男、佐々木惣一、宮内國平、岡崎輝、黒田壽男、須永好、川俣清音、八百板正、田邊勝二、三輪松太郎、佐々木惣一、郷部國一、金田三千、西納利一郎、岡田宗司、水田喜、伊藤貫、中野俊夫、森田重郎、江田三郎

時刻表記事